

第16回ビジュアライゼーションカンファレンス開催にあたって

このカンファレンスはビジュアライゼーションの世界における最先端情報、技術、トピックスを提示する場として1996年に第1回を開催して以来、今回で第16回を迎えます。

当カンファレンスはこれまでも、テレビ東京様の番組「ワールドビジネスサテライト」や、IT media様のウェブサイトをはじめとして、多くのメディアで紹介され、注目されてきました。これらの機会において当カンファレンスは、ビジネスやエンジニアリングにおける可視化の重要性を、幅広い角度から発信してきました。

産業界ではここ数年、「見える化」というキーワードが業務プロセス理解などの目的で普及してきました。それに対して1,2年前から、警察の捜査プロセス公開の目的で「可視化」という単語もメディアに使われるようになってきました。この使い方における2単語は、情報収集・問題意識共有などを目的とした点でほぼ同義語といえるでしょう。それに対して我々は20年以上も前から、科学技術や社会現象などを可読性・認知性の高い形で表示する情報技術の総称として、「可視化(ビジュアライゼーション)」という単語を使い続けてきました。

捜査プロセス公開に代表される社会問題として可視化という単語が脚光を浴びている昨今だからこそ、我々にとつての「可視化」を社会にアピールする必要があるでしょう。その代表的な機会として、このカンファレンスは重要な役割を担っていると考えます。

今回のカンファレンスの午前中は、大変興味深い2件の基調講演をお願いしました。お一人は昨年に引き続き、AR分野の産業応用、特に自動車製造ラインやインテリアシミュレーションにおいて先進的な技術を発表している、ドイツmetaio GmbH社のMichael Kuhn氏にご講演いただきます。お二人目は、2010年5月にフロリダで開催された世界錯覚コンテストで見事に優勝されました、明治大学の杉原厚吉教授にご講演いただきます。またそれ以外にも、今回は「未来の夢を広げる」をキーワードに、はやぶさカプセルや東京スカイツリーにおけるビジュアル技術の講演や、未来の日常生活を開拓するAR技術の講演など、幅広い分野の講演を揃えています。

ぜひ本カンファレンスに参加していただき、最先端の可視化技術をお楽しみください。

可視化情報学会 ビジュアライゼーションカンファレンス実行委員長
お茶の水女子大学 理学部情報科学科 准教授 伊藤貴之

参加申込み方法

- 事前登録制です。ホームページよりお申し込み下さい。
<http://kgt.cybernet.co.jp/avs-conso/event/vc16/>
- 受付は定員に達し次第終了させていただきます。
あらかじめご了承ください。

会場：タイム24ビルへのアクセス

- ゆりかもめ
「テレコムセンター」駅下車 徒歩約2分
- りんかい線
「東京テレポート」駅下車 徒歩約18分
東京テレポート駅から無料循環バスで約3分

<http://www.tokyo-bigsight.co.jp/time/access/>



お問合せ先

ビジュアライゼーションカンファレンス開催事務局

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトビル
サイバネットシステム株式会社 ビジュアライゼーション部 内
Tel: 03-5297-3799 Fax: 03-5297-3637
E-mail: avs-conso@cybernet.co.jp
URL: <http://kgt.cybernet.co.jp/avs-conso/event/vc16/>

The 16th VISUALIZATION CONFERENCE

第16回 ビジュアライゼーションカンファレンス

— 未来の夢を広げるビジュアライゼーション —

日時 2010年11月5日(金) 10:00 - 17:00

会場 タイム24 (江東区青海2-45)

併催イベント

- 第6回 EnSightフォーラム
主催: サイバネットシステム株式会社
- シーグラフ東京セミナー
- OpenGL Japanセミナー

参加無料
(事前登録制)

〔主催〕 社団法人 可視化情報学会

〔後援〕 日刊工業新聞社

〔協賛〕 AVSコンソーシアム
サイバネットシステム株式会社
富士通株式会社
株式会社富士通長野システムエンジニアリング
日本SGI株式会社
CAVE研究会
N3VR研究会
metaioコンソーシアム
OpenGL Japan
SIGGRAPH東京

第16回 ビジュアライゼーションカンファレンス タイムテーブル
 - 未来の夢を広げるビジュアライゼーション -

併催: OpenGL Japanセミナー
 併催: シーグラフ東京セミナー

併催: EnSight フォーラム

日付: 2010.11.5
 於: 東京(青海): タイム24ビル

会場1 (203)	会場2 (202)	会場3 (201)	会場4 (HALL2)	会場5 (HALL3)	会場6 (HALL1)
基調講演		AVSチュートリアル	医用画像チュートリアル		機器展示
10:00 開会挨拶					
10:10-11:10 (60分) 基調講演1 「Augmented Reality for industrial and marketing applications」 metaio社 (metaio GmbH), CEO Michael Kuhn 氏	【Close】	10:10-11:10 (60分) A-1 MicroAVS チュートリアル 「MicroAVS 応用講座」 サイバネットシステム株式会社 ビジュアライゼーション部 喜久川 誠 氏	10:10-12:20 (120分) M-1 はじめから学ぶ、X線CT,MRI画像の3D処理テクニック 「インテージリア基本訓練セミナー」 ※実習コースです。 ※参加条件: 当該ソフトウェア(無料)をインストールしたラップトップ PCを持参できること。 サイバネットシステム株式会社 飯野 智之 氏	【Close】	【Close】
11:20-12:20 (60分) 基調講演2 「立体錯視の楽しみ」 明治大学 先端数理科学インスティテュート 特任教授 杉原 厚吉 氏		11:20-12:20 (60分) A-2 AVS/Express チュートリアル 「パッチ処理入門」 サイバネットシステム株式会社 ビジュアライゼーション部 松岡 憲昭 氏			11:00-16:40 機器展示
昼 休 み 1 2 : 2 0 ~ 1 3 : 3 0 (70分)					立食パーティー 12:30-13:20
「トレンド」トラック	「AR」トラック	「可視化」トラック	EnSightフォーラム	OpenGL Japan セミナー シーグラフ東京セミナー	機器展示
13:30-14:10 (40分) 講演 1-1 「はやぶさカプセル大気再突入の地上観測 - 光学軌道決定と流星研究 -」 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 研究開発本部 未踏技術研究センター 主幹研究員 藤田 和央 氏	13:30-14:10 (40分) 講演 2-1 「軽いARとその応用」 お茶の水女子大学 理学部 情報科学科 教授 椎尾 一郎 氏	13:30-14:10 (40分) 講演 3-1 「タイル表示装置を使った大規模可視化の可能性」 京都大学 高等教育研究開発推進センター 情報メディア教育部門 教授 小山田 耕二 氏	13:30-14:10 (40分) 講演 4-1 「EnSight 9.2 and EnSight 10.0」 *逐次通訳付き CEI社 VP Sales and Marketing Darin McKinnis 氏	13:30-14:10 (40分) 講演 5-1 「OpenGL ES によるモバイル・組み込みグラフィックス(仮)」 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル アプリケーションビジネス推進 桐井 敬祐 氏	
14:20-15:00 (40分) 講演 1-2 「テキスト・ネットワーク分析の視覚化による情報発見」 日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 村上 明子 氏	14:20-15:00 (40分) 講演 2-2 「スマートフォンを利用したARアプリ開発および利用者行動分析」 株式会社DNPデジタルコム 営業・企画開発本部 インタラクションデザイン企画室 宮下 勉 氏	14:20-15:50 (40分) 講演 3-2 「気象情報可視化ツールWisの開発 ~ 気象の見える化を目指して ~」 独立行政法人 電子航法研究所 航空交通管理領域 新井 直樹 氏	14:20-15:00 (40分) 講演 4-2 「EnSight Secrets, Tips, and FAQs: Power tips for Power Users」 *逐次通訳付き CEI社 Marketing Director, Asia & Pacific Region Aric Meyer 氏	14:20-15:00 (40分) 講演 5-2 「iPadにおける電子書籍の新しいインターフェースデザイン」 株式会社 ビトル・エンタテインメント シニア デベロップメント ディレクター 青山 朋康 氏	11:00-16:40 機器展示
休 息 1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0 (30分)					
15:30-16:10 (40分) 講演 1-3 「コンピュータ将棋の挑戦 -- トッププロに追いつく日、追い越す日は来るのか? --」 東京大学大学院 総合文化研究科 助教 金子 知適 氏	15:30-16:10 (40分) 講演 2-3 「MRの実用化に向けたキヤノンの取り組み事例」 キヤノン株式会社 イメージコミュニケーション事業本部レンズ事業部 麻生 隆 氏	15:30-15:50 (40分) 講演 3-3 「AVSを手軽に使うための可視化システム VisPlusの紹介」 名古屋大学 情報基盤センター 高橋 一郎 氏	15:30-17:00 (90分) 講演 4-3 「竜巻状旋回流の3次元可視化」 清水建設株式会社 技術研究所 総合解析技術センター 環境解析グループ PHAM VAN PHUC 氏 「SPMモータ熱解析事例を中心とした、AcuSolveによる熱流体解析事例のご紹介」 株式会社JSOL エンジニアリング本部 流体技術部 芝野 真次 氏	15:30-16:10 (40分) 講演 5-3 「フルドーム立体視向け生命科学CG映像『セントラルドグマ』の制作」 フリーランス(元(独)理化学研究所 オミック基盤研究領域 技術員) 額谷 宙彦 氏	
16:20-17:00 (40分) 講演 1-4 「東京スカイツリーの施工について」 株式会社 大林組 東京本店 新タワー建設工事事務所 副所長 田辺 潔 氏	16:20-17:00 (40分) 講演 2-4 「スマートフォン用ARツールjunaio(ジュナイオ)のコンテンツ制作活用術」 神奈川工科大学 情報学部 情報メディア学科 客員教授 深野 暁雄 氏	16:20-17:00 (40分) 講演 3-4 「日本初のサイエンスクラウドと可視化」 情報通信研究機構 電磁波計測研究センター 宇宙環境計測グループ 村田 健史 氏	「粒子法とGPUでCAE新時代を切り開く! 粒子法ソフトウェア"Particleworks"が目指す先」 プロメテック・ソフトウェア株式会社 執行役員 川上 浩 氏	16:20-17:00 (40分) 講演 5-4 「SIGGRAPH 2010 レポート (CG論文から最新技術展示までの全網羅版)」 株式会社エクサ ユビキタス・PCMソリューション部 安藤 幸央 氏	